



見応えある特作花壇を鑑賞する来場者たち

下妻の秋の風物詩となっている恒例の「下妻菊まつり」が、大宝八幡宮の境内で11月1日から20日まで開催され、菊の愛好家や七五三の晴れ着姿の参拝者などで賑わいました。

会場には、花卉が大きく盛り上がる「厚物」や管状に流れるように広がる「管物」、菊花を組み合わせる富士山や扇子をかたどった「特作花壇」など、下妻市菊花会の会員の力作約700鉢が展示され、来場者の目を楽しませていました。

市内下木戸から友人と訪れた60歳の女性は「いろいろな形で菊を見られるのが楽しみで、毎年来ています。とてもきれいで心が和みます」と話してくれました。

香り立つ菊の競演に  
参拝者の心が和む  
第28回下妻市菊まつり

本に親しみ、図書館を身近に感じてもらうと、おはなし会や本の修理体験、折り紙工作などを企画した「図書館まつり」が11月9日、市立図書館で開催され、市内外からの親子連れなどで賑わいました。

イベントの中でも、現在育児中のお父さんたちのボランティアで構成する「パパ's 絵本プロジェクト」による、おはなしや絵本を歌で伝えるステージは人気を集め、子どもだけでなく大人も一緒に楽しんでいました。

「パパの出張絵本ライブ」を鑑賞した育児中の30歳代男性は「歌いながら絵本を伝えるのは楽しいですね。家では時々、声色を変えて絵本を読んであげていますが、これからも家族で本に親しんでいきたい」と話してくれました。

本に親しむ

図書館まつり



「パパの出張絵本ライブ」を楽しむ参加者たち

下妻駅前が明るく元気に

イルミネーション点灯式・駅前マルシェ

栗山商店街の「しもつま生活向上夢工場実行委員会」と関東鉄道が共催するイルミネーションが下妻駅前広場に設置され、駅前が華やかで鮮やかに飾られています。

イルミネーションは、8万個のLEDで飾られた機関車や8体の星座が制作され、今年、関東鉄道常総線開業100周年記念と、宮沢賢治没後80年をコラボレーションしたオブジェとして、地上の銀河の光景を生み出しています。

列車のオブジェは、実行委員会メンバーの手作りで運転席も設置され、8体の星座は下妻中学校や下妻一高、下妻二高、下妻特別支援学校の生徒たちがペットボトルをリサイクルしたオブジェとなっています。

11月10日に点灯式が行われ、会場からは「わあー、きれい」「駅前が明るくなった」などと歓声が上がりました。また、陶ランタンのキャンドルナイトも来年1月31日まで設置され、今、まさに必見の地となっています。

さらに、下妻駅前広場から延びる栗山商店街の店先では、新鮮な野菜や雑貨、菓子等が並べられた市場「駅前マルシェ」が11月17日に開催され、市内外からの来場者に、関鉄ビール列車の乗客も加わり賑わいをみせていました。



機関車や星座のオブジェが来場者の目を楽しませています



ゆっくり歩いて駅前マルシェでお買い物



勢いよくスタートするランナーたち

紅葉の砂沼湖畔を走り抜ける「第25回砂沼マラソン大会」が11月17日、砂沼サンビーチをメイン会場に開催され、晴天に恵まれた中、1,220名のランナーが参加し、力走しました。

今大会には、昨年のロンドン五輪で女子近代五種に出場した黒須成美選手が招待され、「親子2キロ」と「砂沼一周6.5キロ」にゲスト参加し、会場を沸かせていました。

東京都品川区から「親子2キロ」に参加した須藤慎治さんと小学2年生の周祐くんは「下妻出身の私は、いつか息子と砂沼マラソン大会で走ってみたいと思っていました。今回念願が叶って、きれいな景色の中を息子と走ることができて良かった」と6位入賞を喜んでいました。

紅葉の砂沼湖畔を走り抜ける  
第25回砂沼マラソン大会



騰波ノ江駅で  
トロッコに乗れる新スポット

「とばのえ支線」(トロッコ専用線) 開通式

関東鉄道常総線「騰波ノ江駅」に、本線の東側に並走する70メートルのトロッコ専用線が完成しました。関東鉄道ファンCLUBと関東鉄道が、今年、常総線開業100周年の記念事業の一環として取り組んできたものです。

11月23日の開通式では、関係者によるテープカットが行われた後、開通を待ち望んでいた鉄道ファンたちがトロッコに乗り込み、自分たちの足で漕ぎ出すと、ゆっくりとした動きながらもレールの上を走る感触を楽しんでいました。

親子3人で乗車した30歳代の女性は「息子が電車好きで、『とばのえステーションギャラリ』にはよく来ています。トロッコ線の建設途中を見ていたので楽しみにしていました。子どもたちも喜んで乗っていたし、楽しいスポットができましたね」と話してくれました。



トロッコで出発進行



尾木先生の授業を真剣に聞く中学生たち

いじめを改めて生徒たちに認識してもらおうと、千代川中学校の第2学年主任教諭が応募したNHK・Eテレのスペシャル番組「いじめをノックアウト」に当選し、教育評論家の尾木直樹さんと尾木ママが10月31日に来校して2年生69名に課外授業を行いました。

尾木先生は授業の中で「いじめをしない・させない・見逃さない」という「三ない活動」を生徒たちが自ら行動してほしいと、全国の実例などをあげながら強く訴えました。

尾木先生の熱い思いを受けた倉持菜々さんは、「もっと自分たちで考えて行動できることがたくさんあると気付くことができた。生徒同士が声を掛け合っていじめ防止につなげたい」と話してくれました。

この放送は、12月13日の午後7時25分からNHK・Eテレで放送される予定です。

千代川中学校でいじめを考える課外授業  
NHK・Eテレ「いじめをノックアウト」を収録